

130回生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、この不動岡高校を巣立ち、これから君たちは、一人一人が別々の道を歩んでいくことになります。

さて、君たちは覚えているでしょうか。この不動岡高校に入学した時のことを。そして、その時、胸に思い描いていたことを。果たして君たち130回生諸君は、この不動岡高校で達成しようと考えていたことが実現できたでしょうか。それは在学中の活動、例えば部活動やSSH・SGH、学校行事などの課外活動かもしれませんが、たった今終わったばかりの、自分の進路実現かもしれません。いずれにしても、前々から折に触れてお話ししましたが、私は、とにかくこの不動岡高校が、君たちの人生の単なる通過点になってもらいたくありません。出来ることならこの3年間で、君たちの一生を左右する、あるいは君たちの人生の方向性を決める大きな3年間であって欲しいのです。過去の私とおなじように。私が在学していたころの不動岡高校とは違って、施設設備面も、また教育活動的面でも、君たちははるかに恵まれています。それだけの、環境、チャンスが用意されているこの不動岡高校で3年間を過ごせたわけです。はっきり言って羨ましいです。私も戻れるものなら、今の不動岡高校で、高校生活をもう一度やり直したいくらいです。

卒業を迎えた今、まだ君たちには、この不動岡高校の偉大さは分からないかもしれません。でも、その先の進路、人生を歩むにつれて、様々な場面で分かんと思えます。自分の活動する場面や世界において、いかに不動岡高校のOB、OGが沢山活躍していることか。そして、その人達の恩恵をこれからどれだけ受けることになるか。それはそれで、素晴らしいことです。自分が苦しい時や困難に直面した時に、支えや助けになってくれる先輩方に会えると言うことは。そしてそれだけに、そこで受けた恩恵を、今度は君たちが、後に続く後輩達に施す番になるのです。このように、是非、不動岡高校の卒業生としての縦の糸を、君たちがこれから紡いでいってほしいと思います。

130回生の諸君、卒業おめでとう

学年主任 塩原 壮

これからやること

- ◎ **担任への合否報告**はすませましたか？ 国公立大後期日程受験組（昨日はお疲れ様でした！）も含め、これから結果が判明するという人も、分かり次第、担任へ報告してください。
- ◎ 昨日が提出日となっていた「**卒業生へのアンケート**」「**一般入試 受験報告**」を書き終えていない人は、すみやかに作成し、担任に提出してください。
- ◎ 使い終わった参考書・問題集を学校へ寄付してもらえると後輩たちも助かります。後日でも構いませんので、持ってきてくれる人は大歓迎です。進路室・橋本まで！

【合格した人は…】

- **入学先を担任に報告**してください。

【合格できなかった人は…】

- △ 今後の行き先を担任と相談してください。浪人をする場合は、自宅で勉強するのか予備校に通うのか、予備校に通う場合はどの予備校のどの校舎に通うのかの選択を含めて相談してください。

【浪人する場合】

- 来年度の受験に関する手続きは、すべて自分で行うことになります。例えば…
- ◇ センター試験や国公立大&私立大入試の申し込みは、各自で募集要項を取り寄せて行うことになります。特に自宅浪人となる者は、情報のアンテナを高く張っておくようにしてください。
- ◇ 調査書は出願締切日直前にならないように余裕をもって、旧担任に必要枚数を電話で連絡してく

ださい。その上で不動岡高校事務室に発行願を提出します。その際、1通につき400円の収入証紙が必要となります（詳細は、本日配布される事務室からのプリントを参照）。

君は受験とどう向き合ってきたか？

シーン1

2月27日の朝、3年生のある教室を覗くと、1人の生徒が黙々と勉強に励んでいた。見れば、国公立大学の後期日程試験に向けて赤本に取り組んでいる。彼の第一志望校では、前日まで前期日程試験が行われていたので、早くも気持ちを切り替えて第二志望校に向けた準備を開始していたのである。

T「〇〇大学の試験はどうだった？ 何とかかなりそうかい？」

S「先生、自己採点の結果では、かなり厳しそうです。」

T「私立の〇〇大学にも合格しているのだから、よく頑張ったんじゃないか？」

S「でも、国立大学で△△学を学びたいので、後期に向けて頑張ります。5教科やってきた意地もあるので、最後までやり切ります。」

この言葉を聞き、なぜかとても清々しい気持ちになった。

3月10日にも登校していた彼は、きのう第二志望校の答案用紙に、この3年間の努力の成果を記してきたはずである。

シーン2

先日、ある浪人生が受験結果を報告しに、進路研究室を訪ねてくれた。

S「先生、〇〇大学△△学部に決まりました。」

T「第一志望の〇〇大学はダメだったのか？」

S「はい。やはり厳しかったです。でも、1年前の学力ではとても手が届かなくて思っていた〇〇大学を目標にして1年間頑張ってきてよかったです。模試でB判定がつくまで自分の学力も上がり、本番でも力を出し切りました。今回の結果は他の受験生が僕より頑張ったのだと思っています。4年後は彼らに勝てるように、〇〇大学で一生懸命勉強します。」

この1年の受験勉強にしっかりと向き合い、たくましく成長した彼の真っ直ぐな眼差しを受け止め、「また4月から、頑張れよ」と心からエールを送ることができた。

卒業式を明日に控えて、受験の結果が出揃ったという人も多いことでしょう。受験は勝負事(!?)ですから、合格する人もいれば、不合格となる人も必ずいます。努力をしても上位志望校に合格できなかったという人もたくさんいることでしょう。

4月から、無事進学することになった人の中にも、受験の結果に不満をかかえたままという人もいるのかもしれませんが、でも…、進学することになった学校が君にとって最高の学び舎であるという気持ちをもってもらいたいと思います。次の卒業式の日には、「最高の学校だった」と振り返ることができるよう充実した学生生活を送れるよう、今後も直向きに努力を続けてください。

(浦沢直樹『MASTERキートン⑩』から ⇒)